

高松市立弦打小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

よく学び 心豊かで たくましい 子どもの育成
めざす弦打っ子 ～安全に 友だちみんなで 元気に遊び 体をきたえる子～

【本校の課題】

- 新体力テストの結果において、向上傾向にはあるものの、全種目で男女とも全国・県平均を下回る種目がいくつかある。
- 投運動に焦点化した安全運動委員会が提案している取組により、投げる機会を保障する場を設けたり、理想的な投げ方の提示を行ったりしているが、継続的に取り組む必要がある。

【現状】

休み時間に運動場に出て遊ぶ子どももいるが、運動を楽しむ子どもとそうでない子どもの二極化が顕著に見られる。運動場で遊ぶ子どもは鬼ごっこやインサが多く、昔遊びで楽しんでいる。遊び方が固定していて、心地よさや運動に親しむ遊びにつながっているとは言えない。

体力向上、運動に親しむ資質・能力の育成に関連する体育授業については、教師間・クラス間で指導内容の差が大きく、体育授業への関心や体力向上の必要感が高いとは言えない。

【取組】

体育授業の充実

現職教育等で様々な領域の実技講習会を実施し、体育授業の充実を図るとともに、教師の体育授業の指導力の向上をめざす。

環境整備

昼休みの運動場や体育館の使い方のきまりを設定し、ボール遊びや鬼ごっこで安全に遊べるようにする。また、今年度も、なわとび運動を柱に体力向上を考えるため、環境の整備を計画的に行う。

家庭を巻き込んだ運動週間の実施

「弦打小すこやか運動カード」を作成し、年間3回程度「すこやか運動週間（月間）」を実施する。簡単にできる運動を中心に家族と一緒に取り組めるように計画する。

弦打小すこやか運動カードのイメージ。カードには「弦打小すこやか運動カード」とあり、下部には「運動した合計時間」の表が示されている。

運動名	レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
鬼ごっこ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボール遊び	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
縄跳び	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
なわとび	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
運動した合計時間													

安全運動委員会によるイベントの開催

子どもたちに問題提起をし、安全運動委員会でどんな活動をすれば、体力が向上するかを考え、昼休みや業間にできるイベントを計画、実施する。本年度も、投能力向上を目的に全校生でドッジキャッチラリーを継続して計画する。

【目標】

- 業間や昼休みに、外遊びや運動遊びを楽しむ子どもをクラスの80%程度にする。
- 投能力やなわとびも含め、「弦打小すこやか運動カード」などのチャレンジカードを活用して体力向上を図り、新体力テストの学校平均を向上させる。
- 豊富な運動遊びが将来の健康な生活につながることを考え、運動の重要性を共通理解した上で、教職員全員でたくましい子どもを育成する。